

調布から！復興支援プロジェクト 2015 年度総会議案書



開催日 : 2015 年 6 月 23 日 (火)
開催時間 : 19 時 30 分～
開催場所 : 調布市市民活動支援センター
はばたきスペース

調布から！復興支援プロジェクト

2015 年度総会 次第

1. 開会の辞

代表挨拶

2. 議長選出

3. 議事録署名人選出

4. 議事

第 1 号議案

2014 年度活動報告承認に関する件

1. 2014 年度役員

2. 活動報告

御礼と 2014 年度活動総括

(1) 復興支援販売事業

(2) スポット支援活動

(3) 子ども達を元気にする事業

(4) 新しいつながりを生み出す活動事業

(5) 復興支援事業への参画

第 2 号議案

2014 年度決算報告並びに監査報告承認に関する件

第 3 号議案

2015 年度活動計画(案)

1. 団体の運営について

2. 2015 年度役員

3. 活動内容

(1) 復興支援販売事業

(2) スポット支援活動

(3) 子ども達を元気にする事業

※ワカモノプロジェクト活動計画

(4) 新しいつながりを生み出す活動事業

(5) 復興支援事業への参画

第 4 号議案

2015 年度収支予算(案)承認に関する件

5. 閉会の辞

第 1 号議案 2014 年度活動報告

1. 2014 年度役員

代 表	横山 泰治
副代表	水田 征吾
副代表	松下 善一
副代表	水戸 和幸
会 計	小林 孝
監 査	日比生 信義
顧 問	金子 日出澄
顧 問	山口 昌之
顧 問	齋藤 祐一郎
事務局長	三澤 美玲

2. 活動報告

【御礼と 2014 年度活動総括】

2014 年度も、皆様からのご理解とご支援、ご参加をいただき本プロジェクトの年度テーマである、「『細く』『長く』活動を続け、東北に生きる人との『未来』に向けたパートナーシップ」に沿って活動を行うことができました。皆様に心より御礼を申し上げます。

この 4 年間、活動を継続し、新たな事業も増えてきました。今までの関係を大切にすることで、事業の同日程での重複や一部のメンバーへの負担が集中、新しい人へのアプローチに取り組み切れなかったこともありました。一方で、ワカモノプロジェクトやフレンドリーカップなど、それぞれかわった方が主体的に行動し始めていることも事実です。

2014 年 11 月の「いま、私にできること～Make an Action～」のように、本プロジェクトが今までの活動で協力し合ってきた団体や、調布市をはじめとした公共団体との連携を進めることで、多くの新しい方と活動と一緒にすることもできました。

課題を反省としてしっかり受け止め、その上で、それぞれの活動が発展し、自立して継続されていくための活動を行うことが、本プロジェクトに必要なと感じています。

調布から！復興支援プロジェクトは、これからも東北をはじめ、復興に向けて共に歩んでいる皆さんに寄り添い続ける団体として存続していきたいと考えています。そして、行動したい個人、法人の皆さんが、無理なく活動ができる環境づくりやきっかけづくりを「細く」「長く」続けてまいります。

会員数（会費を納めてくださった方）

年度	期間	正会員	サポート会員	備考
2011 年度	2011 年 7 月～2012 年 3 月	(発起人 19 名)	—	
2012 年度	2012 年 4 月～2013 年 3 月	32 名	4 名	
2013 年度	2013 年 4 月～2014 年 3 月	36 名	5 名	
2014 年度	2014 年 4 月～2015 年 3 月	目標 70 名 実績 33 名	目標 20 名 実績 6 名	

後述のとおり、新規ボランティア参加者などさまざまな形でのかわりをもつことができていますが、正会員（会費 2,000 円）及び賛助会員（会費 500 円）の数を増やす目標は達成できませんでした。

調布から！復興支援プロジェクトの運営体制について見直しを行っています。法人格取得の検討については、今年度の反省も踏まえ中止とします。

事務所については、2011 年から NPO 法人ちようふこどもネットの事務所をシェアしていましたが、諸般の事情により解消しました。現在は郵便物の宛先として登録してあると同時にちようふこどもネットの倉庫に備品を保管している状態です。

(1)復興支援販売事業

①東北物産販売

2013 年度に引き続き市内で行われ、復興支援のための販売をご理解いただき出店料免除がされるイベントへの出店を中心に事業を行いました。イベント等での売り上げは 1,990,265 円で、収益は 332,690 円でした。目標であった完全委託で商品を預ける形態も増えました。特に明治大学付属明治高校 JRC 部（ボランティア部）からの申し出により、学園祭での委託販売が成功しました。高校生とのつながりもでき、のちに高校生によるボランティアへ自発的な参加へ発展しました。

送料や振込手数料について、実費を販売価格に組み込んで販売するよう変更したため、商品の仕入れ等準備にかかる支出を、補うことができました。

参加するメンバー、ボランティアの皆さんが固定化している問題について、勧誘活動を行いました。さらなる努力が必要です。イベントのサイズによってボランティアの人数が多く必要になります。

人数が増えるためにボランティア同士のコミュニケーションが少なくなる、お金の管理等の問題が増えます。オリエンテーション等の必要性、リーダーの配置など課題も見えてきました。

■取り扱った主な商品

県	市町村	取引先	商品	備考
岩手県	二戸市	志賀煎餅	南部煎隊 煎バイジャー	
宮城県	気仙沼市	千葉一商事	潮騒ダー	
	石巻市	石巻観光協会	木の屋水産缶詰、牡蠣味噌、おつまみ昆布など	
		石ノ森萬画館	萬画館グッズ	新商品あり
		こころ・さをり	さをり織りグッズ	
		遠藤水産	わかめ、こんぶ、くきわかめ、ふのり	新パッケージ
	東松島市	まちんど	海苔、のりドレッシング、豚角煮、ブルーインパルスグッズなど	
福島県	郡山市	JAライフクワイエット福島	桃ジュース、林檎ジュース、トマトジュース	

■東北商品取り扱い店舗

・販路拡大 は 2015 年度以降に繰り越します。

■イベント出店

年度	イベント回数	イベント日数	参加ボランティア	初参加
2013 年度	17	26 日	のべ 163 名	22 名
2014 年度	15	19 日	のべ 133 名	25 名

	出店イベント		参加ボランティア	うち初参加ボランティア
1	4月29日(日)	国領 こいのぼり祭り(委託)	—	—
2	5月17日(土)	調布観光フェスティバル	9	0
	5月18日(日)		18	6
3	7月25日(金)	八雲台小学校盆踊り 設営	4	0
4	7月25日(金)	八雲台小学校盆踊り	14	7
5	7月26日(土)		8	3
6	8月 3日(日)	おらほ仙川夏まつり (委託)	—	—
7	8月24日(日)	調布花火大会	12	2
8	9月 7日(日)	まち活フェスタ (委託)	—	—
9	9月13日(土)	富田雅美ダンスユニット発表会	3	0
10	9月26日(日)	ちょうふチャリティーウォーク (委託)	—	—
11	9月27日(土)	明治大学付属明治高校 紫紺祭 (委託)	—	—
	9月28日(日)			
12	10月18日(日)	すずかけフェスタ	18	1
13	11月 2日(金)	プチマルシェ	8	2
14	11月15日(土)	農業まつり	10	1
15	11月16日(日)		6	1
16	11月16日(日)	国領わいわいまつり	4	1
17	11月23日(日)	いま、私にできること	8	1
18	3月11日(火)	東日本大震災慰霊祭 2014	11	0
			133	25

②自主財源確保のためのチャリティー販売

やまぐち酒店様の御協力による生ビール販売等では地域やイベント来場者の方に東北の現状や活動について知っていただく機会となり、約 26 万円を収入として活動費に繰り入れることができました。

■生ビール販売

	出店イベント		売上	仕入れ	収益 氷など経費を除いた金額	備考
1	5月17日(土)	調布観光フェスティバル	¥88,400	¥50,846	¥37,554	生ビール¥400
2	5月18日(日)					
3	7月25日(金)	八雲台小学校盆踊り	¥274,150	¥119,264	¥153,478	生ビール¥450 酎ハイ ¥350
4	7月26日(土)					
5	8月24日(日)	花火大会	¥230,000	¥154,381	¥75,619	生ビール¥500 ホテ・イカ ¥400
			¥592,550	¥324,491	¥266,651	

(2) スポット支援活動

調布の事業者や市民が、物資搬送や観光などで東北の方々と交流する本事業は 2014 年度も継続して行いました。昨年度同様、モノだけでなく人同士をつなげることでつながる「気持ちの交流」を重視し、主に訪問、見学、交流に重点をおき、12 回の訪問を行いました。

また、2013 年度に続き、福島県飯舘村社会福祉協議会の事業に参加するスポット支援も継続して行いました。飯舘村から福島市内の借り上げ住宅などにお住まいの方々を飯舘村社会福祉協議会の生活支援相談員の皆さんが福島市内の会場にお呼びして交流活動を行っています。このお茶飲み会に参加し、社協スタッフのお手伝い、お年寄りのお話し相手などを行っています。社協の希望により 1 回の訪問につき調布から！復興支援プロジェクトからは 5 名程度が参加しています。

日程		主な訪問先	主な活動内容	参加人数 (うち訪問初)
1	5月29日	福島県福島市	飯舘村社会福祉協議会お茶飲み会慰問	8 (2)
2	5月30日～6月1日	宮城県東松島市、石巻市、女川町	調布から！行こう東北ツアー第2弾	17 (5)
3	7月24日	福島県福島市	飯舘村社会福祉協議会お茶飲み会慰問	6
4	8月19日	福島県福島市	飯舘村社会福祉協議会お茶飲み会慰問	4
5	9月24日	福島県福島市	飯舘村社会福祉協議会お茶飲み会慰問	4
6	11月3日	福島県須賀川市	FC 東京選手会 訪問に同行	4
7	11月26日	福島県福島市	飯舘村社会福祉協議会お茶飲み会慰問	10 (4)
8	12月13日～14日	宮城県石巻市、女川町、	クリスマスプレゼントお届け、ワカモノプロジェクトサポート	13 (4)
9	1月23日	福島県福島市	飯舘村社会福祉協議会お茶飲み会慰問	2
10	3月21日～22日	宮城県石巻市、女川町	ワカモノプロジェクトサポート	9 (2)
11	3月27日	福島県福島市	飯舘村社会福祉協議会お茶飲み会慰問	4 (2)
12	3月30日	福島県福島市	飯舘村社会福祉協議会お茶飲み会慰問	2
合 計				83 (19)

※参加者にはワカモノプロジェクト所属者もカウント

(3) 子ども達を元気にする事業

①調布・福島フレンドリーカップ

調布・福島フレンドリーカップ」事業は、東日本大震災による福島第一原発事故の影響により屋外で自由に活動できない福島の子供達に笑顔と元気を届けたいとの想いで始まった事業です。2011 年より 3 年間は「福島の子供達に元気を！」の事業名で実施してきましたが、これまで以上に福島の子供達と東京・調布の皆様との交流を深め、強い絆でともに助け合い・支え合い・歩みを進めて一日も早い復興を実現することを願って2014 年より事業名を「調布・福島フレンドリーカップ」に変更しました。2014 年度は、7 月 26 日（土）～ 28 日（月）福島県須賀川市岩瀬 FC の 4～5 年生 10 名 監督 1 名 保護者 2 名、福島県相馬郡新地町新地 SSS の 5～6 年生 13 名 コーチ 2 名、保護者 1 名 合計 29 名を招待し、2 泊 3 日の事業を行いました。市内の数多くの団体との連携により、深大寺及び覚證寺での宿泊、FC 東京戦観戦、フレンドリーカップ（交流戦）、富士見町盆踊り参加、電気通信大学見学等が実現しました。

また、FC 東京選手会（会長 高橋秀人選手）の発案により選手会が福島を訪問し小学生チームとのふれあいを希望、本活動で交流のある 岩瀬 FC 監督をご紹介することができました。FC 東京の選手が

震災後、被災地での復興支援活動をするのは今回が初めてです。選手たちにより子ども達、応援にきた家族の皆さんは笑顔溢れる時間となりました。

本活動は、地元新聞（福島民友 2014 年 11 月 4 日朝刊）でも取り上げられました。別紙をご参照下さい。



②高校生・大学生世代の交流（ワカモノプロジェクト）のサポート

ワカモノプロジェクトは 10 代から 20 代の若者が東日本大震災被災地の支援を行うことで、次の世代にまで跨る息の長い復興応援活動が続けることを目的としています。活動にあたっては以下 3 つのテーマを柱としながら、活動に参加している若者が被災地応援活動を行うことで、社会活動に対する意識の醸成と地域活動の活発化に貢献することを目指しています。

- ・被災地を知る
- ・被災地と交流する
- ・被災地と支えあう

調布から！復興支援プロジェクトでは、このワカモノプロジェクトをサポートしながら共に活動し、お互いの成果を共有する関係が続けています。

2014 年度、ワカモノプロジェクトでは以下の活動を行いました。調布から！復興支援プロジェクトでは基本的には各事業の主体はワカモノプロジェクトであると考え、ワカモノプロジェクトでは賄えない部分のみをサポートする形を取ってきました。

1) 東北訪問

2014 年 12 月 13 日～14 日 宮城県女川町、石巻市への訪問

※調布から！復興支援プロジェクトと共催

2015 年 3 月 21 日～22 日 宮城県女川町、石巻市への訪問

※大学生企画

2) 調布市内での復興応援販売

2014 年 8 月 3 日 おらほ仙川夏祭り

2014 年 8 月 31 日 調布よさこい

2014 年 9 月 7 日 まち活フェスタ

2014 年 9 月 28 日 ちょうふチャリティーウォーク

2015 年 3 月 29 日 八雲台小学校桜まつり

3) 東北交流団体の調布市内への招待

2014 年 9 月 20 日～21 日 げろっば招待

- 4) イベント実行員会への協力
 - 街かつフェスタ実行委員会
 - 咲かせよう＊調布さくらプロジェクト実行委員会

これらの活動の中で、東北訪問においては昨年度から実施している大学生企画が昨年の経験をもとに更に実りのある訪問を実現出来たことや、復興応援販売の実績が増えてきていることなど、ワカモノプロジェクト事務局が地道に活動を続けてきた成果が表れてきていると考えています。

(4) 新しいつながりを生み出す活動事業

初めての参加者や単発参加のメンバーも、継続して活動をしているメンバーも互いに尊重しながら幅広い活動を行うことが出来るよう、新規事業も行いました。

福島県飯舘村社会福祉協議会お茶飲み会慰問活動

【飯舘村社会福祉協議会主催のサロン活動（お茶飲み会）への参加事業】

東京電力福島第一原発事故以来、未だに帰宅困難地域である飯舘村から県内外に避難されている方は約 6,000 名にも及びます。その内県内 3 地区(福島地区、保原・川俣地区、南相馬地区)の分散している借上げ住宅に避難されている方のケアとして飯舘村社会福祉協議会が実施しているサロン活動（通称「お茶飲み会」）に昨年の 1 月から不定期ですが、ほぼ 2 カ月に一度の割合で毎回数名のメンバーで参加してまいりました。

この事業の内容は

- ① 「お茶飲み会」での飯舘村社会福祉協議会のスタッフの皆さんの準備のお手伝い
- ② 「お茶飲み会」でのお菓子の差入れ
- ③ 「お茶飲み会」参加者とのふれあい(主にお年寄りとの会話等)

となっています。

今後は「映画のまち調布」として避難されている皆さんへ喜んでもらえるような映画の上映会が出来るように取り組んでいきたいと考えております。また、現地の方と触れ合える復興支援活動として多くの皆様に気軽に参加していただけるよう告知活動を強化していきたいと思っております。

(5) 復興支援事業への参画

①東日本大震災慰霊祭「あの日を忘れない。」実行委員会への参画

2013 年から実施されている東日本大震災慰霊祭 2015「あの日を忘れない。」（2015 年 3 月 11 日開催）に実行委員として参画、代表横山が実行委員長を務めました。事業は無事安全に開催され、犠牲者の追悼、東北応援販売、支援活動・防災対策の啓蒙という三つを、一連のものとして実現しました。今回より募金を市内の復興支援活動に役立ていくファンドも設立されました。

調布から！復興支援プロジェクトとしては、東北の物産を販売し、「東北を忘れない、震災を忘れない」きっかけ創出を行いました。

②「いま、私にできること make an action」事業への参画

市内の複数団体、個人を中心に実行委員会形式で 2014 年 11 月 23 日（日）に開催しました。東日本大震災からの 3 年半をしっかりと受け取りながら、震災を忘れず、「今からでも」「できることを」「やっ

てみる」というテーマで、市内で活動が続けてきた団体を中心に市民で実行委員会を組織し、「震災を忘れない」「命を守ること」「人や街を応援すること」「つなぎ、伝えること」を体験できる場を 共有し、希望を持って未来に向かえる場を創りだすことを事業趣旨としました。

調布から！復興支援プロジェクトは、このイベントの立ち上げ、実行委員会の中心メンバーとして、公益社団法人調布青年会議所、調布市仏教会、電気通信大学 U.E.Cast、社団法人石巻観光協会、株式会社街づくりまんぼうを共催として、また多くの市民団体に協力を得て、事業を行いました。

また、当日には東北の物産を販売し、「人や街を応援すること」というテーマの元、「東北を忘れない、震災を忘れない」きっかけ創出も行いました。

開催日時 : 2014 年 11 月 23 日（日・祝）午前 10 時から午後 4 時
（企画展は 11 月 22 日（土）から 25 日（火）（最終日は午後 3 時まで））
開催場所 : 調布市文化会館たづくり 南北ギャラリー他 調布駅南口広場
当日参加スタッフ：70 名（実行委員・ボランティア含む）
来場者数（推定）：南口広場約 3,000 名 たづくり約 800 名（全期間）

当日は天気に恵まれ、大変多くの方に来場いただきました。実施内容の決定が遅れポスターやチラシの制作が遅れてしまいましたが、HP や Twitter、Facebook での反応が早く、広まるのも早かったようです。

会場が二分されてしまったことによる来場者の偏りや、ステージ音響で苦情が来てしまったことなど、反省点もありましたが、今後はこのような点を改善し、SNS の活用など良かった点をさらに伸ばせるイベント運営を心がけます。

第2号議案 2014年度決算報告並びに監査報告

※別紙

なお、在庫については以下のとおりです。

在庫分類		金額
1	さをり織り	¥1,850
2	萬画館	¥17,535
合計		¥19,385

第3号議案 2015 年度活動計画

1.団体の運営について

①テーマと概要

来年の3月には東日本大震災から5年を迎えます。復興の明るいニュースと今だ解決されない問題が存在する中で、ネパールの地震、口永良部島での火山噴火など世界各地、日本各地で災害が頻発しています。東日本大震災をきっかけに皆さんとつながった、調布から！復興支援プロジェクトは、これからも皆さんのお気持ちを、「細く」「長く」「広く」つなげたいと考えております。そのために、原点に立ち返り、「今、私たちにできること」にしっかり取り組みます。

1.「細く」…身の丈に合った活動と他の災害があった地域への支援

これまでに知り合った方、活動を共にした方との絆を大切にしながら身の丈に合った事業を継続します。そして4年前、初めて会った人同士が共に活動をつくる仲間として本プロジェクトを支えたように、新しい仲間と、これからの東北と、国内外での災害があった地域とつながっていける活動を行います。

2.「長く」…誰もが長く続けられる組織としての運営

今まで活動してきたメンバーが支えるメンバーとして次世代の活動を支えることができるよう、会員制度の変更、正会員の募集を行います。

3.「広く」…他団体との協力の推進とすそ野を広げる活動

継続事業は協力団体との共催の度合いを高めて実施し、同時に他プロジェクトへの支援活動も強化します。そのために、協力団体の皆様も含め多くの方に本プロジェクトについて知っていただく機会をつくります。

調布から！復興支援プロジェクトが存在し続けることが、いままでに関わってきた方々に にとって災害を「忘れていない」、災害が「忘れられていない」証となります。存在そのものが支援の一つの形となるよう、「細く」「長く」「広く」の活動、皆様のご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

②2015 年度会員制度

A.正会員： 年会費 2,000 円(1口=1票) 総会での議決権有

B.学生会員： 年会費 500 円(1口=1票 高校生～大学生) 総会での議決権有

年会費は、今までの剰余金と合わせ、事務局運営費用・復興支援販売の仕入れ代金など活動のベース資金として活用させていただきます。用途については会議、ホームページ、facebook 等で明確にし、会員募集については目的を明示し、無理のない範囲で行います。

C.サポーター： 年会費無料 個人登録制 総会での議決権無

復興応援販売等へのボランティア参加、本プロジェクトの活動をご自分のメール・facebook・各種 SNS にて広報をしていただける方です。新しいつながりを生み出し続けるためにも、ボランティア活動をしてくださる個人の方を対象とします。

サポーターの募集についてはホームページやフェイスブック等で登録を促す告知活動を展開します。本プ

プロジェクトの活動を広めるためのパンフレットやチラシ、ステッカーなどの作成を目的としたサポーターを交えたデザインチームの結成も検討します。すでにメールをお送りしている方は、本年度のサポーターとして登録します。

本プロジェクトのサポーターへの入会、退会は自由、メール、電話でのお届けで承ります。

D.賛助会員：年会費 1 口=5,000 円

寄付・活動支援をお願いできる法人・団体・個人など 総会での議決権無

各種活動時の協賛法人・団体としてホームページやフェイスブック等で告知させていただきます。各種事業の運営資金として、口数に応じ、バナー掲載や活動に於いての協賛の明示などを行います。

総会のほか、年 3～4 回の全体会議、すべての活動への出席、参加はこれまでとおり、A.～D.すべての会員が可能です。

E.友好団体：各種活動実施時に連携する団体会員 年会費無料

（案）調布市、石巻市、東松島市、調布市観光協会、石巻観光協会、石巻市商工会議所、調布市商工会、調布市社会福祉協議会、飯舘村社会福祉協議会、東松島あてなしょっぷまちなど、株式会社街づくりまっぽう、株式会社石巻日日新聞社、石巻コミュニティ放送株式会社、調布警察署、調布消防署、公益社団法人調布青年会議所、調布市仏教会、電気通信大学 U.E.Cast、調布市市民活動支援センター、国際ソロプチミスト東京-調布、国際ソロプチミスト東京-調布ローレル、東京調布 むらさきロータリークラブ、東京調布ライオンズクラブ、調布市消費者団体連合会、一般社団法人みらいサポート石巻、遠野まごころ ネット、調布市部課長会「幹の会」、復興の未来へ行こう！ワカモノプロジェクト、咲かせよう！調布さくらプロジェクト、調布市教育委員会、遠藤水産、岩瀬 F C、調布市少年サッカー協会、F C 東京 等、

今まで本プロジェクトの活動に携わってくださった団体・企業の皆様を、友好団体として登録させていただきます。

2. 2015 年度役員

代 表	横山 泰治
副代表	水田 征吾
副代表	松下 善一
副代表	水戸 和幸
副代表	桑原 圭太
会 計	小林 孝
監 査	日比生 信義
顧 問	金子 日出澄
顧 問	山口 昌之
顧 問	齋藤 祐一郎
事務局長	三澤 美玲

3.活動内容

(1)復興支援販売事業

①東北物産販売 ②自主財源確保のためのチャリティー販売

商品を介して被災地東北に思いを寄せるきっかけになる本事業は継続的にを行います。特に、復興支援のための販売をご理解いただき出店料免除がされるイベントには参加していきます。これまでの連携、つながりを生かした場へも参加していきます。

事務局、販売準備等の負担軽減のため

1. 完全委託の活用

2. 出店イベントの予定を早く決めることで、販売ボランティアの早期募集を行います。

本年度、販売を行う参加イベントの予定は別表のとおりです。

自主財源確保のためのチャリティー販売について、2014 年度、生ビール等アルコール販売では266,651 円の利益を生み、目標額の 10 万円を達成しました。本年の目標も 10 万円と設定します。収益は復興支援活動の資金となることをアピールできるような工夫を考えます。具体的には、紙コップのスリーブ（カバー）等での告知、チラシだけではない広報を検討します。また、委託先への引き継ぎを課題とします。

	出店イベント		状況
1	4 月 29 日（日）	国領 こいのぼり祭り（委託）	済み
2	5 月 17 日（土）	調布観光フェスティバル	済み
	5 月 18 日（日）		
3	7 月 25 日（金）	八雲台小学校盆踊り 設営	未定
4	7 月 25 日（金）	八雲台小学校盆踊り	未定
	7 月 26 日（土）		
5	8 月 2 日（日）	おらほ仙川夏まつり（委託）	確定
6	8 月 22 日（日）	調布花火大会	未定
7	9 月（日）	まち活フェスタ（委託）	未定
8	9 月 13 日（日）	ちょうふチャリティーウォーク（委託）	未定
9	9 月 26 日（土）	明治大学付属明治高校 紫紺祭（委託）	確定
	9 月 27 日（日）		確定
10	10 月 10 日（土）	調布市商工まつり	確定
	10 月 11 日（日）		
	10 月 12 日（月）		
11	10 月（日）	すずかけフェスタ	未定
12	11 月（土）	農業まつり	未定
	11 月（日）		
13	11 月（日）	国領わいわいまつり	未定
14	3 月 11 日（金）	東日本大震災慰霊祭 2015	確定

(2) スポット支援活動

この 4 年間で、現地の状況も変わってきています。東北への物資のスポット支援は、要請があった場合に迅速に対応しますが、一旦終了とします。

しかし、ネパールの地震、口永良部島での火山噴火など世界各地、日本各地で災害が頻発しています。東日本大震災をきっかけに皆さんとつながれた、本プロジェクトとしては、災害があった地域への募金や物資の寄付など、これからも皆さんのお気持ちを少しでも、「細く」「長く」「広く」つなげていきます。

そしてモノだけではなく、情報と人材のスポット支援は継続して行います。今までに出会い、つながった人たちとコミュニケーションをとりあい、つながり続ける活動を行います。中でも、飯舘村社会福祉協議会が実施して

いるサロン活動（通称「お茶飲み会」）には今年度も引き続き参加していきます。気軽に現地の方と触れ合える復興支援活動として、出来るだけ幅広い世代の方々に参加いただけるよう告知活動にも力を入れていきます。

(3) 子ども達を元気にする事業

①調布・福島フレンドリーカップ事業

2015 年は、福島県の少年サッカーチーム（須賀川市・岩瀬 FC）を招待し、調布市少年サッカーチームとの交流、FC 東京のサッカー観戦、調布市内の見学などを実施します。また、より交流を深めるために調布の子ども達および協力者の皆さんと福島の実況について学び、復興について考える企画を実施します。

・ 2015 年度実施要項

日時：2015 年 8 月 15 日（土）～17 日（月） 2 泊 3 日

招待チーム： 福島県須賀川市・岩瀬 FC 19 名（予定）

（5 年生 4 名、4 年生 12 名、監督 1 名、保護者 2 名）

宿泊先：浮岳山 昌楽院 深大寺

共 催： 調布市（予定）

実施場所：東京都調布市近辺

主なスケジュール

8 月 15 日（土）

11 時～12 時：福島の今を知る・岩瀬 FC 伊藤監督のお話

（場所：味スタ調布庁舎・会議室）

14 時～16 時：サッカー交流（場所：西町サッカー場）

8 月 16 日（日）

10 時～12 時：サッカー交流（場所：西町サッカー場）

午後：交流バーベキュー（場所：野川公園 or かに山）

夜：Jリーグ観戦・FC 東京 vs G 大阪（場所：味の素スタジアム）

8 月 17 日（月）

午前：深大寺周辺散策

昼：さよならセレモニー（場所：未定）

②高校生・大学生世代の交流（ワカモノプロジェクト）のサポート

ワカモノプロジェクトが長期的に活動が続けられる基盤作りを引き続きサポートしていきます。東北への訪問と交流はもちろん、活動に関する情報発信や調布市内のワカモノに対しての情報提供など、活動の幅を広げられるようにサポートしていきます。

また、調布から！復興支援プロジェクトとの繋がりを更に強化し、復興支援販売などで共に活動できる環境作りに努めてまいります。

(4) 新しいつながりを生み出す活動事業

調布市内外でのいままで築いてきた関係を大切にしつつ、団体紹介パンフレットの作成や新しい PR 手段の模索など、東北とつながる本プロジェクトの存在を知ってもらう活動にも力を入れていきます。

2016 年 3 月の慰霊祭へ向け、4 年前に出会った東北の皆さんに現状をお聞きし、発信していきます。また、ホームページやフェイスブックの多言語化やイベント紹介・報告の多言語化に取り組み、いままで以上に初めての方が参加しやすい環境を作っていきます。

実際に活動することが難しい方にも PR でご協力いただける機会を創ります。そして新規に参加された方、継続して参加していただいている方、分け隔てなく交流でき、新規事業にチャレンジし、また長く続けていっていただけるような土壌作りを行います。

2014 年 11 月の「いま、私にできること」事業では様々な方々との交流を作ることができました。毎年この規模のイベントを開催することは難しいですが、様々な団体との交流や協力を続け、また次の節目となるタイミングでこのようなイベントが開催できるような関係を保ち続けます。

(5) 復興支援事業への参画

① 東日本大震災慰霊祭「あの日を忘れない。」実行委員会への参画

2012 年度から実施されている東日本大震災慰霊祭 2016「あの日を忘れない。」に実行委員として本年度も参画します。市内の警察や消防をはじめとした組織と協力し、防災・減災の意識をもって事業にかかわります。

第 4 号議案 2015 年度収支予算(案)

別紙